

射水市教育委員会 6 月定例会会議録

開会日時 令和 3 年 7 月 2 日（金）

開会 午後 4 時 0 5 分

閉会 午後 5 時 4 0 分

会議場所 本庁舎会議室 4 0 1

出席委員

金谷教育長、眞岸委員、宮原委員、野上委員、村上委員

会議事件説明員

原事務局長、杉高事務局次長、久々江事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）、中川学校教育課長、小竹教育センター長、北村スポーツ施設整備班長、安元学校教育課長補佐、高井学校教育課総務企画係長

傍聴人数 なし

会議の要旨

午後 4 時 0 5 分、教育長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 事務局報告

(1) 令和 3 年 6 月射水市議会開催状況について

教育委員会事務局長が資料 1 に基づき説明した。

3 議案

(1) 指定管理者の名称等の変更について

事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）が資料 2 に基づき説明し、可決された。

4 協議事項

(1) 教育に関する事務の点検・評価報告書（案）について

学校教育課長及び事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）が資料 3 に基づき説明した。

5 各課等の連絡事項及び報告事項

(1) 令和 4 年度射水市重点事業要望について

学校教育課長及び事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）が資料 4 に基づき説明した。

(2) 令和 3 年度射水市教育行政要覧について

学校教育課長が資料 5 に基づき説明した。

(3) 射水市マイスター教員事業[令和 3 年度]について

教育センター所長が資料 6 に基づき説明した。

(4) 学び合う集団づくり推進事業（3 年次）について

教育センター所長が資料 7 に基づき説明した。

(5) 教育委員会行事予定

学校教育課総務企画係長が資料8に基づき説明した。

6 その他

(1) 学校教育課長が新型コロナウイルスワクチン先行接種について説明した。

(2) 次回教育委員会の開催日時について

7月定例会 7月27日(火)午後1時30分から 本庁舎会議室401

7 議事

(1) 教育に関する事務の点検・評価報告書(案)について

[委員] P15 体力の向上について

コロナ禍における行動制限により、体力が低下しているのではないかと
いうことがよく聞かれた。昨年度、何か工夫されたことがあるのであれば、
書き入れたほうがよい。

P15 子どもの標記については、「ども」は漢字ではないか。

P18、21 母国語の標記について 昨年度、指摘があり母語に修正し
たと思う。本来は、母語ではないか。

P20 学校給食の充実について

指標：地場産食材使用率について、昨年度に比べ、射水市産、富山県産
の使用割合が減となっている理由を教えてください。

P30 信頼される教育の推進について

総括に記載されている「可能な限り」ということは、プライバシーの保
護の観点からなのか。コロナ禍の状況であり仕方がなかったと思うが、
学校に出入りをするのができず、学校と地域との距離感があった。学校
とのつながり、開かれた学校についてできることを検討していただきたい。
また、学校評議員の取組についても記載が無くなっている。

[事務局] 子どもの標記について、市の条例に基づきひらがなとしたい。

給食の地場産食材使用率の射水市産、富山県産の使用割合が減となっ
ているが、令和2年度から給食費が上がり分母が増えたことによるもので
あるが、理由を記載させていただく。

体力については、昨年度の実態として、十分な運動をする機会が確保で
きていないため落ちていると思う。コロナ禍の中でも可能な運動が分かっ
てきているので、今後は体力ができる限り落ちこまないような取組を実施
していきたいということを入れたい。

[委員] 体力の向上について

学校現場では、コロナの影響はあるが授業をみていると、先生方は可能
な限り活動時間を確保しようとしている。また、子ども達は、天気のよい
日には休み時間にグラウンドで遊んでおり、遊びを通して体を動かしてい
た。

[委員] P6、30 PDCAサイクル、OJTの記載について

用語解説があったほうが分かりやすい。

P10 年間1人当たりの学校図書館での貸出冊数について

前年度増減において、中学校がマイナス1.0冊となっている理由を記
載したほうがよい。

P21 特に支援が必要な児童生徒について

診断を受けていない児童生徒、愛着障害の児童生徒を含め、特別に支援
を必要とする子どもが数年前に比べ増加している。幼保小中、家庭との連
携が必要である。令和3年度に実施の小中学校家庭教育専門支援員の取組

につながる課題の記載があってもよい。

また、個別の指導が多くなっている学校現場であること、教員は若返っておりキャリアを積んでいないため大変である。だからこそ、指導主事の先生が学校を訪問、サポートをお願いしたい。

P 2 5 安全教育の推進について

保護者への安全メールは様々なことにおいて非常に助かっている。報告書の中に記載されているのか。

P 4 5 図書館機能の充実について

昨年度、各図書館に本を消毒する機械を導入され、安心して図書館を利用できているが、記載したほうがよい。

P 4 9 文化財の普及について

学芸員の方が、小学校等に出向き文化財について話をされていることを積極的にアピールする文章があったほうがよい。

[委員] P 2 7 ICT機器の効果的な活用について

金山小3年生がふるさと学習として地域めぐりをしている際、タブレット端末を持ち写真をとっていた。個人差、学校規模により差はあると思うが、1人1台のタブレット端末を配備した成果が表れている。

P 3 2 幼児教育の充実について

幼保小の情報の共有について、小学校への連絡カードを新1年生の学級編成の際にしっかりと活用をしていただきたい。

[委員] P 4 0 地域における教育の充実について

放課後児童クラブ、とやまっ子さんさん広場、放課後子ども教室、土曜学習推進事業の違いが分かるよう、用語解説を記載されたほうがよい。

P 4 1 地域ネットワークの活用 主な成果・課題について

記載されている内容が、どの事業のことをいっているのか分からないので、主語を記載したほうがよい。

コロナ禍における各種取組について

修学旅行に代わる体験学習（立川志の輔師匠の特別講演会）の実施や部活動の成果の発表会を開催されていたと思うが、コロナ禍における取組を記載してはどうか。

[委員] P 3 8 あったか家族応援プロジェクトの協力団体について

あったか家族応援プロジェクトの記載部分では、青年会議所のみ記載されているが、その他の団体や企業等、多くの皆さんが参加されている。記載方法を工夫してはどうか。

P 1 2 いじめ防止対策について

主な成果・課題の1点目の文章は、主語が無いので記載してほしい。

(2) 学び合う集団づくり推進事業(3年次)について

[委員] 不登校の子ども達への生徒指導については、国は変わってきている。

以前のとにかく学校に来れるようにということから、生きるためにどう支援していくのか、いかに自立した社会生活を送れる大人になるための支援をどうするか、そのためには、学校でなくても、適応指導教室やフリースクールでもよいということ、全教員が理解をしているかどうか。

生きるための支援、長い目で見た生徒指導について、射水の先生方にはどのような考えを持って当たっていただくのか。先生方が課題として理解していただければ、良い方向にいくのではないかと思う。

[事務局] 6月校長会では、不登校の生徒のオンライン授業、つなげていく指導をお願いした。児童生徒の社会的な自立を目指すということで、適応指導教室に行っている子供については必ず学校への復帰ということではなく、次の段階で自立ができるように、また、民間の施設ではオンラインでの学習サイトもできているので、家庭と連携しながら子供の成長やがんばりを認めることが、次の自立につながることを校長先生に伝えた。

午後5時40分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。